福島県立医科大学学術成果リポジトリ
FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

神経解剖・発生学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001037

菊地臣一. 監修のことば. AAOS Orthopaedic Surgery DVD Library No.91　腰部硬膜内脱出椎間板ヘルニア切除と硬膜修復; 201907.

菊地臣一（映像提供）. ギックリ腰の予防は“日常の姿勢”から！ 201903; NHK ガッテン！「家事」「暮らし」がラクで楽しくなる科学の黄金ワザ 100　永久保存版. 67.

菊地臣一. 祝辞　福島県理学療法士会設立 50 周年～これからの 50 年に向かって～. 2019. 福島県理学療法士会設立 50 周年記念誌. 11.

菊地臣一. 泌尿器科学講座開講 50 周年に寄せて. 2019. 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座開講 50 周年記念誌. 34.

花岡一雄，伊関雅子，小川節郎，菊地臣一，紺野愼一，鈴木　勉，丹羽真一，細川豊史（監修）. ノルスパン®テープ適正使用ガイドブック（製造販売元ムンディファーマ株式会社）. 201903.

菊地臣一（監修）. THE BACKLETTER No.28. 201903.

菊地臣一（監修）. THE BACKLETTER No.29. 201906.

菊地臣一（監修）. THE BACKLETTER No.30. 201909.

菊地臣一（監修）. THE BACKLETTER No.31. 201912.

神経解剖・発生学講座

論　　文

〔原　著〕

Nakamichi Yu, Okubo Kai, Sato Takayuki, Hashimoto Mitsuhiro, Tanifuji Manabu. Optical intrinsic signal imaging with optogenetics reveals functional cortico-cortical connectivity at the columnar level in living macaques. Scientific Reports. 201904; 9(1):6466.

〔総説等〕

向笠勝貴，八木沼洋行. 多様な転写因子による脊髄神経の分化運命決定. Clinical Neuroscience. 201906; 37(6):642-645.

著　書・訳　書

八木沼洋行 訳. 脊髄と脊髄神経. In: Tortora GJ, Derrickson B 著　桑木共之, 黒澤美枝子, 高橋研一, 細谷安彦 編訳. トートラ人体の構造と機能　第5版. 東京: 丸善出版; 201903. p.463-494.

八木沼洋行 訳. 2 神経細胞とグリア細胞の組織学, 4 農と脊髄の髄膜, 5 脳室系と脳脊髄液, 6 終脳. In: Schünke M, Schulte E, Schumacher U 著　坂井建雄, 河田光博 監訳. プロメテウス解剖学アトラス　頭頸部／神経解剖 第3版. 東京: 医学書院; 201903. p.292-295,306-337.

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤洋一, **八木沼洋行**. CST 実施のボトルネックとその解決策ーアンケートの結果からー. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

橋本光広, **八木沼洋行**. ウイルスベクターを用いた、新たな小脳の神経回路の解析. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

向笠勝貴, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. Foxp1 転写制御領域におけるレチノイン酸応答配列の探索と種間比較. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

渡邉裕二, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. 視蓋円形核投射を形成する視蓋遠心路ニューロンの発生と移動. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

向笠勝貴, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. Foxp1 シス制御領域におけるレチノイン酸応答配列の解析. 第 52 回日本発生生物学会大会; 20190514-17; 大阪.

橋本光広, **加藤茂樹**, **小林和人**, **八木沼洋行**. ウイルスベクターを用いた、新たな小脳の神経回路の解明. 福島医学会第 476 回学術研究集会; 20190523; 福島.

向笠勝貴, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. Foxp1 遺伝子座に位置するレチノイン酸応答配列の機能解析と種間比較. 第 9 回 Tokyo Vertebrate Morphology Meeting; 20190720; 東京.

橋本光広, **八木沼洋行**. 視床下部外側野から小脳虫部へのオレキシン入力. 第 42 回日本神経科学大会／第 62 回日本神経化学会大会; 20190727; 新潟.

本間俊作, **島田孝子**, **八木沼洋行**. 発生学的な筋分化コンパートメントに基づく脊髄神経分岐パターンの新しいモデル. 第 42 回日本神経科学大会／第 62 回日本神経化学会大会; 20190727; 新潟.

渡邉裕二, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. 盲視を支える視蓋円形核ニューロンの発生. 第 65 回東北・北海道連合支部学術集会; 20190907-08; 江別.

向笠勝貴, **佐久間千恵**, **八木沼洋行**. V3 インターニューロンの発生過程で SIM1 は ROBO3 を抑制し MIR9 により抑制される. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203-06; 福岡.

〔シンポジウム〕

八木沼洋行. 我が国における献体を使用した手術手技研修の現状と課題. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

解剖・組織学講座

論　　文

〔原　著〕

Kashiwazaki J, Yoneda Y, Mutoh T, Arai R, Yoshida M, Mabuchi I. A unique kinesin-like protein, Klp8, is involved in mitosis and cell morphology through microtubule stabilization. Cytoskeleton. 201905; 76(5):355-367.

Segawa K, Tamura N, Mima J. Homotypic and heterotypic trans-assembly of human Rab-family small GTPases in reconstituted membrane tethering. Journal of Biological Chemistry. 201905; 294(19):7722-7739.

Tamura N, Kageyama S, Komatsu M, Waguri S. Hyperosmotic Stress Induces Unconventional Autophagy Independent of the Ulk1 Complex. Molecular and Cellular Biology. 201907; 39(16):e00024-19.

Saito T, Kuma A, Sugiura Y, Ichimura Y, Obata M, Kitamura H, Okuda S, Lee HC, Ikeda K, Kanegae Y, Saito I, Auwerx J, Motohashi H, Suematsu M, Soga T, Yokomizo T, Waguri S, Mizushima N, Komatsu M. Autophagy regulates lipid metabolism through selective turnover of NCoR1. Nature Communications. 201904; 10(1):1567.

〔総説等〕

Arai R, Waguri S. Improved Electron Microscopy Fixation Methods for Tracking Autophagy-Associated Membranes in Cultured Mammalian Cells. Methods in Molecular Biology. 201901; 1880:211-221.

研究発表等

〔研究発表〕

荒井律子，**山下俊一**，**神吉智丈**，**和栗　聡**. ミトコンドリア構造の一部分を自食するマイトファジープロセスの微細形態学的解析. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

植村武文. メンブレントラフィックの機能・形態. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.